

# あまがさき 市議会だより

Vol.123

令和元年(2019年)5月1日

発行:尼崎市議会  
編集:尼崎市議会だより編集委員会  
〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号  
☎06-6489-6112(議事課) ☎06-6489-6105  
✉ama-gkaidayori@city.amagasaki.hyogo.jp

市議会の情報はホームページで  
ご覧いただけます。

尼崎市議会

検索



3月29日に行われた尼崎城オープニングイベント



第10回定例会

## 平成31年度当初予算案を可決

第10回定例会は、2月21日から3月22日までの30日間の日程で開催されました。2月25日・26日及び27日に開会された常任委員会では、平成30年度補正予算等について審査を行い、3月4日の本会議で採決を行いました。3月6日からは予算特別委員会を設置し、当初予算等について分科会及び総括質疑(全体会議)による審査を行った後、3月22日の本会議において当初予算案等はいずれも原案可決となりました。(各議案の採決結果は7・8面に掲載)

### 目次

■代表質疑	2・3
■予算特別委員会(分科会審査)	4・5
■決算特別委員会意見に対する回答	6
■採決結果一覧表	7・8
■議員研修会を開催	8
■議会の動き	8
■編集後記	8
■次回定例会の予定	8

# 代表質疑

3月5日・6日の2日間、各会派の代表者6人が平成31年度当初予算案などに関して代表質疑を行いました。主な質疑と答弁の要旨は、次のとおりです。

## 当初予算審議の主な流れ

- ① 代表質疑
- ② 予算特別委員会 (分科会)
- ③ 予算特別委員会 (総括質疑)
- ④ 予算特別委員会 (各会派意見表明・採決)
- ⑤ 本会議 (採決)

### 公明党

開 康生



### ありたいまちの進捗状況について

**問** 推計人口が増加に転じているなど、ありたいまちの進捗について、どのように手応えを感じているのか。

**市長** 人口増加等をきっかけに、現在の尼崎市の姿が広く発信されたことはうれしく思うが、この人口増加は社会増加を要因とするものであり、本市の人口そのものは少子高齢化の進展により今後も減少が見込まれ、ファミリー世帯の転出を抑制することが重要である。これまでから、ありたいまちの実現に向けて施策を推進してきたが、放置自転車やひったくりの激減など、見える形で成果が表れており、取り組みが進んでいると実感している。引き続き、全力で取り組みを進めていく。

■ その他の主な質疑

○ 尼崎版観光地域づくり推進指針に基づき、地域の稼ぐ力の最大化を目指した取り組みを進め、成果を上げることについての決意は。  
 ○ 雨水貯留管整備工事の再検討を行うことで、住民が納得できる事業が実施できるのか。  
 ○ 改定住宅マスタープランにおける、空き家活用及び老朽危険空き家等の除却の取り組みについての考え方は。

### あまがさき 志誠の会

丸岡 鉄也



### 商店街の活性化について

**問** 尼崎城を核とした観光地域づくりにおける周辺の商店街の活性化策について、制度の改善や市内業者で循環させる取り組みを検討してはどうか。

**市長** これまで商業集積地の

活性化に向けた取り組みに対し、支援を実施してきた。尼崎城の再建を契機に、地域の稼ぐ力を高め、まちの魅力と価値の向上につなげることが重要であることから、商業支援策について、より利用しやすい制度への改善を図り、地域経済の好循環に資する取り組みについて検討していく。

### ■ その他の主な質疑

○ 本市独自の取り組みとして、多胎妊娠や多胎児家庭に対する支援等、子育て世帯から歓迎される支援制度を模索すべきではないか。  
 ○ 中学校給食の給食センター建設に係る1年半の設計・建設期間の短縮はできないのか。

○ 母子健康手帳のリニューアルに当たり、市民アンケートを取るなどしたのか。また、予算可決前の段階でデザインの変更がもうできないというのは、議会軽視だと思ってしまうか。



### 維新の会

光本 圭佑



### 総合文化センターの再整備について

**問** 総合文化センターについて、耐震性に問題があるにも関わらず使用を続けてよいと考えているのか。万が一の場合、補助金を出している市も責任を問われると思うがどうか。

**市長** 総合文化センターは、尼崎市文化振興財団所有の建物であるが、文化振興の拠点として、これまでから、市として運営に深く関わってきたことから、耐震の問題についても、財団とともに、協議・検討に努める必要があると考えている。

### ■ その他の主な質疑

○ 0〜2歳の住民税課税世帯の子供の保育料を無償化する考えはないのか。  
 ○ STOP Pitの導入を検討



したのか。また、SNS等を活用した市独自の相談体制を構築すべきではないか。  
○武庫分区分水貯留管整備事業に係る予算を計上する前に、工事場所の比較検討を行っていないかったのか。また、複数案を作成して現計画案との比較を行っていくと方針転換した理由は。

### 日本共産党 議員団

松澤 千鶴



### 公共施設マネジメント ト計画について

**問** 福祉会館の所有権を地域に移譲した場合、維持管理費用を地域が負担することとなり、老朽化が進んだときに建て替え等の費用がないということも考えられるが、公民館分館と同様に自然消滅してもよいという考えなのか。

**市長** 市所有の福祉会館については、老朽化が進行しているものから、比較的新しいもの

のまであり、利用頻度や使用料収入と維持管理費等の収支についてもさまざまである。こうしたことから、今後、あらためて各福祉会館の利用実態を把握し、施設の改修による長寿命化のための支援策等を行うなど、丁寧に対応していく。

### ■その他の主な質疑

○積極的に市民と対話を重ねたいという市長の思いを、具体的にどのように示していくのか。

○自衛隊をトライやる・ウィークの対象事業所にすることはやめるべきではないか。

○国民健康保険料滞納世帯に対する納付指導の一環としての資格証明書の発行はすべきでないと思うが見解は。



### 緑の かけはし

須田 和



### 教育行政と施策について

**問** 教育委員会のトップとして、教育長は、平成31年度予算編成にどう臨んだのか。

**教育長** 着任後初めての予算編成であったため、教育委員会の全ての事業の目的や効果を確認してきた。そうした中、学校教育については、ファミリー世帯の定住・転入促進に向けても極めて重要な分野であることから、幼稚園から高等学校までのそれぞれの段階において取り組みの充実を図ったものである。学校現場での取り組みの改善が進まなければ、子供たちには届かないことに留意し、学校現場とコミュニケーションを取り、それぞれの取り組みを実質化していく。

### ■その他の主な質疑

○部活動指導員とスクールサポート・スタッフについて、教員の負担軽減と児童生徒の学力向上につながるという根拠及び目標は。

○幼児教育の無償化実施後に見込まれる待機児童増加への対策は。また、児童ホームの定員増に向けた対策は。地域担当職員の勤務形態や職務内容に画期的な工夫が必要ではないか。



### 市民グリーン クラブ

明見 孝一郎



### 防災・減災対策について

**問** 地域住民が防災対策について、自ら考え、行動ができるような取り組みの展開も必

### ■要と考えるがどうか。

**市長** 本市地域防災計画においては、公助・自助・共助が一丸となった安全・安心のまちづくりを推進することとしており、これまで地域防災力向上に向けた取り組みを地域の方々と共に進めてきた。そうした中、昨年は多くの災害が発生し、また今後も大規模災害の発生が危惧されていることから、地域住民一人一人が防災対策について自ら考え、行動するための取り組みがますます重要になると考えており、来年度からは、関係職員が地域に入り、地域の特性に応じた共助による情報伝達の仕組みづくりに取り組んでいく。

### ■その他の主な質疑

○尼崎城開城2年目以降の来場者数確保の取り組みと展望は。また、来場者数が減少した場合の対応策は。

○これまでアウトソーシングを進めてきたことによる課題は。また、その経験を今後どのように生かし、改善していくのか。

○市長の思い描く自治のまちづくりビジョンは。また、いつを目途にどう進めていくのか。

## 予算特別委員会

### 平成31年度当初予算及び同予算関連議案等を審査

本市議会では、平成31年度当初予算と同予算関連議案等の計26案件を集中的に審査するため、全議員を委員とする予算特別委員会を設置し、委員長に真鍋修司委員が選任されました。

審査に当たっては、常任委員会と委員や所管事項が同じ5つの分科会を設置し、各所管部局に関して審査を行うとともに、当初予算案及び当初予算関連議案等についての論点整理を行うため、分科員間による協議を行いました。続いて、各会派が総括質疑を行った後、意見表明を行いました。その後の採決の結果、一般会計予算案などの26案件が原案のとおり可決されました。

### 分科会審査

3月7・8日の2日間に行われた各分科会の審査において、次の事項が重要な論点として全会一致でまとめられ、各論点において、分科員からそれぞれ意見がありました。

#### 総務分科会

**論点** 災害時における市民等への情報伝達手段の構築について。

**意見** 市民等が共助を行える仕組みづくりや環境の整備を早期に行うこと。

広報車等のアナログ的な情報伝達手段を十分に活用すること。

**論点** 財政部門と政策部門の連携による一体的なまちづくりの推進について。

**論点** 観光事業による市内経済への効果の創出及びあまがさき観光局の自立経営について。

**意見** あまがさき観光局が市の財政支援に依存しない自立的な経営を行うこと。  
成果につながる効果的なインセンティブ方式とすること。

**論点** 市民等の理解を得た上で、のファシリティマネジメントの推進について。

**意見** 市民との丁寧な対話に基づき、着実に推進できる体制を構築すること。

施設の機能面まで削減せず、市民の意見を取り入れること。公共施設の包括管理業務委託の導入を検討すること。

包括管理業務委託には市内事業者の育成や雇用確保等に課題があること。  
労働者の労働条件の確保の観点から、コスト重視の包括管理業務委託は行うべきではないこと。

#### 文教分科会

**論点** いじめ・不登校対策の推進について。

**意見** STOPpitを早期に導入すること。

STOPpitはいじめが重大事態になる前に相談しやすい環境をつくるための一つのツールになるのではないかと

中高生のいじめの原因としてSNSが大きな問題となっている中でSTOPpit等のSNSをいじめ・不登校対策として活用することには懐疑的であること。  
当局も調査研究を進めてお



寺町は、尼崎版観光地域づくり推進指針において、重点取組地域とされています。



小学校及び特別支援学校において、安全環境の最適化を図ることとされています。

り、現時点ではすぐに解決できない問題もあることから、兵庫県のようごっ子SNS悩み相談の推移の経過を見た上で、STOPpitの導入を検討すること。

いじめられている人にとっては喫緊の課題であり、早急な対応が必要のため、STOPpitという具体的な手法を提案していくべきであるということ。

**論点** 中学校給食の開始時期のさらなる前倒しについて。

**論点** 学校安全管理体制の再構築について。

**意見** 安全管理員の配置時間や防犯カメラの設置について多くの意見が出たが、子供の安全を守るためにしっかりと取り組むこと。

子供の安全を考えると安全管理員の配置時間が減ることは心配であること。

今後、教員以外の方が学校に参画する中で、従事者の資質や退職等によって事業が継続出来るのかということに懸念があること。

保護者・地域による見守り活動の雇用のあり方について整理すること。

#### 健康福祉分科会

**論点** 生活保護費に係る国庫



**意見** 負担のあり方について。  
国に対して市単独での要望書を提出すること。

**論点** 避難行動要支援者名簿を活用した市民の共助体制の構築について。

**意見** 共助体制の構築には福祉・地域コミュニティ・防災を一体的なものとして捉えること。

**論点** 子供の医療費助成制度の今後の拡充について。

**論点** 乳幼児健康診査を受診しやすい環境の整備について。

**論点** 市民に親しまれる母子健康手帳のデザインのあり方について。

**意見** 他都市のデザインと比較されることも考えて市民が愛着を持てるように配慮すること。

**論点** 市立弥生ヶ丘斎場の管理運営及び人員体制のあり方について。

**意見** 指定管理料は年度ごとに積算すること。

人員体制や運営方法での問題点を明確にすること。

**論点** 課題のある生活支援サポーターの制度見直しについて。

**論点** 児童ホーム・保育所の待機児童対策と環境改善の推進について。

**意見** 老朽化した施設を建て

替える必要があること。  
市全体の施策の中で優先順位を明確にすること。

**論点** 子どもの育ち支援センターにおける不登校対策等の幅広い課題に対応しうる支援の構築及び人材確保について。

**意見** 子どもの育ち支援センターの事業内容が具体的に見えてこないこと。

専門職などの人材の確保が重要であること。



市立弥生ヶ丘斎場では指定管理者による管理運営が行われています。

□ 経済環境市民分科会

**論点** 地域との連携による地域予算の効果的な活用について。

**意見** 用途の決定方法が重要であること。

**論点** プレミアム付商品券関係事業における対象者への周知等の効果的な実施について。

**意見** 事前の準備を周到に行う必要があること。

**論点** 地球温暖化対策のさらなる推進について。

**意見** 温暖化対策推進事業の全市的な周知が課題であること。

市としての環境対策の取り組みについても重要であること。

**論点** 公設地方卸売市場の今後のあり方についての検討の促進及び議会への報告について。



地方卸売市場では、水産物卸売業者の入場に向けた取り組みが行われています。

**意見** 早急に明確なビジョンを打ち出す必要があること。

議会が検討状況の報告を受け関与していく必要があること。

□ 建設消防企業分科会

**論点** 工業用水道事業におけるユーザー企業の増加に向けた関係部局との連携について。

**意見** 公営企業局が主体的にユーザー企業の誘致に取り組むべきであること。

**論点** 雨水貯留管整備事業における課題を踏まえた市民合意形成プロセスのあり方について。

**意見** 雨水貯留管整備事業の必要性について、責任をもつて説得していくこと。

市民合意形成プロセスのあり方は全庁的な課題であること。

住民説明において専門家の知見を活用すること。

住民の理解を得るための対話力や対応に課題があること。

**論点** モーターボート競走事業における本場の来場者数の増加に向けた取り組みの充実について。

**意見** 多目的な用途で活用できる集客力のある施設に改修すること。  
集客イベントを含め来場者

数を増やすための取り組みが必要であること。

**論点** 空き家利活用及び老朽危険空き家等の除却の促進について。

**意見** 密集市街地における老朽住宅の除却を着実に進めていくこと。



モーターボート競走場では、メインスタンドの改修等が予定されています。



## 決算特別委員会意見に対する回答

平成30年9月の決算特別委員会における平成31年度予算への提言に対する市長からの回答は、次のとおりです。なお、議会からの提言については、要約してありますので、詳しくは、議会日より第121号（平成30年12月1日発行）をご覧ください。

### ◆平成31年度予算への提言内容

#### 【不登校等に対する取組】

**提言** 不登校への対策として、学校における取組を強化するとともに、学校への支援体制や関係機関との連携協力等のネットワークによる支援、家庭の協力を得るための方策等を充実し、学校復帰の支援のほか、SNSを活用した相談機能等による不登校の未然防止及びフリースクールや地域等との連携による居場所づくりのための対策を講じていくべきである。

**回答** 学校における取組として、不登校を未然防止するため、アンケートによる客観的なデータから児童生徒の心の状態や環境への適応度などをはかることを目的とする、学校環境適応感尺度「アセス」を中学校全17校及びモデル小学校13校の計30校で実施する。また、不登校児童生徒及

登校支援団体ネットワークや不登校の子をもつ親のつどいの実施、兵庫県教育委員会が実施するひょうごっ子SNS悩み相談事業の活用など、様々な関係機関と連携し、不登校対策に取り組んでいく。

#### 【妊娠期から子育て期にかかる切れ目のない支援】

**提言** 子ども等に係る医療費助成については、ファミリー世帯の定住・転入促進に向け、本市の財政状況との整合性を図りつつ、持続可能な子どもの医療費助成制度として効果的に拡充すべきである。

**回答** 本市の最重要課題として位置付けている「ファミリー世帯の定住・転入促進」に向けては、これまでの家庭へ派遣するハートフルフレンド派遣事業の学生ボランティア増員などを行う。

これらに加え、関係機関との連携協力等による支援として、子どもの育ち支援センターにおいて、切れ目のない子育て支援のため、福祉、保健、教育等が連携して総合的かつ継続的に支援を実施するとともに、不

現行の医療費助成制度は、医療ニーズの高い就学前児

（1～6歳児）にも所得制限を設けているが、父母両方の所得を合算して判定することから、高所得層だけではなく、夫婦の互いが仕事をもち、協力して育児を行う世帯も所得制限を超過している傾向にある。

こうしたことを踏まえ、平成31年7月から、就学前児（1～6歳児）の所得制限を撤廃し、医療費の自己負担を軽減するよう、乳幼児等医療費助成事業の制度内容を拡充する。

#### 【市民等の円滑な避難行動を支援する取組・行政の災害対応力の向上】

**提言** 平成30年9月4日に本市を襲った台風21号の災害対応の実態や課題認識を踏まえ、災害への事前の備えを拡充するとともに、想定を超える事態にも的確に対処できるように組織・職員体制を構築し、あわせて高齢者等を含めた市民等への確実な情報伝達手段の整備に取り組むべきである。また、市民等が能動的な共助を行える仕組みや環境の整備を進めるべきである。

**回答** 平成30年度の災害対応での課題を踏まえ、台

風接近前の注意喚起や避難所の開設、ライフラインの状況等、災害時に必要な情報の内容やタイミング、市の防災体制の見直しなどについて検討を進めており、関係機関との連携についても、既に協議を行うなど、その強化に取り組んでいる。

また、市民等が共助を行える仕組みや環境の整備に向けては、新たな地域振興体制における取組や地域福祉の取組などと一体となつて、災害情報の取得状況の把握や、市との連携のあり方について、職員が地域に入り意見交換を行い、それぞれの地域の特性に応じた情報伝達方法など、災害時の共助による仕組みづくりを進めていく。

加えて、市民等への確実な情報伝達手段の整備として、アナログ波の防災ラジオ等に代わるVアラート端末の整備や、多層的な情報を一斉配信するための防災行政無線の改修及び自動電話応答サービスによる情報配信機能の導入を進めるなど、これらの取組により行政の災害対応力を高めていく。



## 採決結果一覧表（第10回定例会）

区 分			結果	公	志	維	議	か	ク	無	付託委員会
				明	あ	新	日	緑	市	所	
			(12)	ま	の	本	は	民	属	(1)	
			党	が	会	共	し	ク			
				さ		産	の	ラ			
				き	会	党	の	ーン			
条例	議案 第26号	暴力団排除活動支援基金条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	総 務
	// 第27号	職員定数条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第28号	事務分掌条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第29号	職員の自己啓発等休業に関する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第30号	職員の配偶者同行休業に関する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第31号	職員の修学部分休業に関する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第32号	P F I 事業者選定委員会条例	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第33号	市税条例及び債権管理条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	予算特別
	// 第34号	選挙公営条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	総 務
	// 第35号	職員の給与に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	文 教
	// 第36号	福祉医療費の助成に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	// 第37号	児童福祉法に基づく児童福祉施設等の設備及び運営の基準を定める条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第38号	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づく幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準を定める条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第39号	国民健康保険事業基金条例	//	○	○	○	○	○	○	○	経済環境市民
	// 第40号	武庫川六樋かんがい施設使用料条例を廃止する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第41号	公設地方卸売市場業務条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	予算特別
	// 第42号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第43号	市立クリーンセンター条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第44号	建築基準法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第45号	市営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	建設消防企業
	// 第46号	都市公園条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
// 第47号	消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	建設消防企業	
// 第48号	公営企業に勤務する企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	//	
// 第49号	水道事業給水条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	予算特別	
// 第50号	工業用水道条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	//	
// 第51号	下水道条例の一部改正	//	○	○	○	×	○	○	○	//	
議員提出議案第1号	市議会委員会条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託省略	
// 第2号	市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	付託	
予算	議案 第1号	平成31年度一般会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	予算特別
	// 第2号	平成31年度国民健康保険事業費予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第3号	平成31年度地方卸売市場事業費予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第4号	平成31年度育英事業費予算	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第5号	平成31年度農業共済事業費予算	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第6号	平成31年度公共用地先行取得事業費予算	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第7号	平成31年度公害病認定患者救済事業費予算	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第8号	平成31年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業費予算	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第9号	平成31年度青少年健全育成事業費予算	//	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第10号	平成31年度介護保険事業費予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第11号	平成31年度後期高齢者医療事業費予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第12号	平成31年度水道事業会計予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第13号	平成31年度工業用水道事業会計予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第14号	平成31年度下水道事業会計予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
	// 第15号	平成31年度モーターボート競走事業会計予算	//	○	○	○	×	○	○	○	//
// 第16号	平成30年度一般会計補正予算（第5号）	//	○	○	○	×	○	○	○	総 務 文 教 健康福祉 経済環境市民 建設消防企業	
// 第17号	平成30年度国民健康保険事業費補正予算（第2号）	//	○	○	○	○	○	○	○	総 務 経済環境市民	
// 第18号	平成30年度育英事業費補正予算（第1号）	//	○	○	○	○	○	○	○	総 務	
// 第19号	平成30年度公共用地先行取得事業費補正予算（第1号）	//	○	○	○	○	○	○	○	建設消防企業	
// 第20号	平成30年度介護保険事業費補正予算（第2号）	//	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉	
// 第21号	平成30年度後期高齢者医療事業費補正予算（第2号）	//	○	○	○	○	○	○	○	経済環境市民	

区 分	議案	内 容	結果	公	志	あ	維	議	日	か	ク	市	無	付託委員会
				明	誠	ま	新	日	緑	民	所			
				(12)	(8)	(7)	(6)	(4)	(4)	(1)				
議案	第22号	平成30年度水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防企業
	// 第23号	平成30年度工業用水道事業会計補正予算(第2号)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第24号	平成30年度下水道事業会計補正予算(第1号)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第25号	平成30年度モーターボート競走事業会計補正予算(第3号)	//	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	//
議案	第52号	丹波少年自然の家事務組合規約の一部変更に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総 務
	// 第53号	包括外部監査契約の締結	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第54号	工事請負契約(旧若草中学校解体工事)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文 教
	// 第55号	指定管理者の指定(鶴の巣園、千代木園、福喜園及びワークセンター和楽園)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康福祉
	// 第56号	指定管理者の指定(市立弥生ヶ丘斎場)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第57号	指定管理者の指定(墓園)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第58号	農業共済事業特別積立金の取崩し	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別
	// 第59号	農業共済事業事務費の賦課総額及び賦課単価	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第60号	事業契約の変更(市宮武庫3住宅第1期建替事業)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設消防企業
	// 第61号	事業契約の変更(市宮武庫3住宅第2期(宮ノ北住宅)建替事業)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案	第62号	工事請負契約の変更(港橋耐震補強(その1)工事)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	// 第63号	工事請負契約(港橋耐震補強(その2)工事)	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	第64号	教育委員会教育長の任命	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	委員会付託省略
人事案件	// 第65号	教育委員会委員の任命	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
	諮問 第1号	人権擁護委員の候補者の推薦	異議なしと答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//

※閉会中の継続審査となった陳情は1件です。  
 ※会派名の下の( )は会派ごとの所属議員数です。ただし、採決に加わらない議長(あまがさき志誠の会)及び欠席議員(日本共産党議員団1人)を含みます。

議会の動き

**【2月】**

- 5日▽議会改革検討委員会
- 6日▽議員研修会
- 14日▽会派代表者会
- 20日▽議会運営委員会
- 20日▽議会代表者会
- 21日▽議会運営委員会
- 25日▽健康福祉委員会
- 25日▽建設消防企業委員会
- 26日▽文教委員会
- 27日▽総務委員会

**【3月】**


- 1日▽議会運営委員会
- 4日▽議会代表者会
- 4日▽議会運営委員会
- 14日▽議会代表者会
- 14日▽議会代表者会
- 13日▽議会運営委員会
- 14・15日▽議会特別委員会(分科会)
- 18日▽議会特別委員会(総括質疑)
- 19日▽議会特別委員会
- 20日▽議会運営委員会
- 22日▽議会運営委員会

- 5日▽本会議
- 6日▽本会議(代表質疑)
- 7・8日▽予算特別委員会
- 5日▽本会議(代表質疑)
- 6日▽本会議(代表質疑)
- 5日▽本会議
- 5日▽本会議(代表質疑)
- 5日▽本会議

### 議員研修会を開催

2月6日に(株)地方議会総合研究所の代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招き、「議員定数と議員報酬のあり方」をテーマに研修会を行いました。

議会活動の活性化及び議会機能の強化の観点から見た議員定数及び議員報酬のあり方について、お話しいただきました。




議会はどのような機能を発揮すべきで、議員はどのように活動すべきかを踏まえたお話を伺いました。

## 次回定例会の予定

次回定例会は6月の予定です  
 詳しくは、議事課までお問い合わせください。

市議会の審議の様子は、市議会ホームページでご覧になれます。



## 編集後記

尼崎城が150年の時を越えて開城しました。希望と発展のシンボルとなりますように、議員一同願っています。

昨年度は尼崎市の人口も9年ぶりに増加に転じました。地域振興体制の再構築に向けて、新たな組織体制で船出します。財政を含め、さまざまな課題が山積みとなつていますが、住みたいまちから住み続けたいまち、暮らしやすいまちへ、市議会としてもしっかりと取り組んでまいります。

(K・Y)